

2/14  
朝日

## 再稼働反対署名の 知事への提出拒否

県、市民団体に対し

原発再稼働への反対署名を集めている市民グループが13日、県内外の20万5千人分の署名を提出するため県庁を訪れた。しかし、県側は集まった市民全員が提出の場に立ち会うことや、西川一誠知事への直接提出を拒否。グループが「市民を愚弄している」と反発し、

署名を提出しなかった。

この日、グループは約80人が県内外から集まったが、県の担当者が「2階会

議室で代表者4人と市民20人に県安全環境部企画幹が対応する」と告げると、強く反発。交渉の末、面会予定から1時間半後、県は参加者全員が会議室に入ることと了承した。

面会に応じた岩永幹夫・企画幹に対し、グループは「原発をなくし、新しい雇用を生み出す福井にしてほしい」と要請したが、署名は渡さなかった。代表者の一人、明通寺（小浜市）の中嶋哲演住職は県外から約15万3千人分の署名が集まったことに触れ、「再稼働は福井や立地市町だけの合意でいいという認識を知事に改めてもらいたい」と話した。今後も知事に直接署名を渡すため、県と交渉するつもり。

(山田理恵)